

# 令和3年度特色入試問題

## 《教育学部》

### 課題

100点満点

#### (注意)

1. 課題冊子，資料集および解答冊子は係員の指示があるまで開かないこと。
2. 課題冊子は表紙のほかに1ページある。資料集は表紙・資料一覧のほかに14ページある。
3. 解答冊子は問いごとに1冊ずつある(全部で3冊ある)。それぞれの解答冊子は表紙のほかに1ページ，3ページ，3ページある。なお，別の下書き用紙(7ページ)を配布する。
4. 試験開始後，それぞれの解答冊子の表紙所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には，これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答はすべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
7. 解答冊子は，どのページも切り離してはならない。
8. 課題冊子，資料集および下書き用紙は持ち帰ること。解答冊子は持ち帰ってはならない。

私たちの人生は、毎食の献立を考えるような日常の営みから、職業を決めるような重大な場面まで、さまざまな選択の連続であると言って過言ではない。民主主義社会においては、それらの選択は個々人の自由に委ねられていると考えられ、また、それが良きことであるという大前提が共有されている。

歴史上、人々は多くの場合に、身分制度などに縛られ、自分で生き方や行動を選択することができなかった。「自分で選べること」は、人類がその歴史のなかで獲得してきた貴重な財産である。

資料集のなかには、「選択」の意味や価値、また、人間社会における「選択」を取り巻く環境、条件について、多様な角度から議論を提示し、考察を迫る資料が収録されている。これらを読んで、以下の問いに答えなさい。

問 1. 資料 1 に示した英文を読み、下線部①～④をそれぞれ日本語に訳しなさい。

(25 点)

問 2. 次の問いに答えなさい。

(1) 資料 2 に示した表の 1980 年と 2010 年の数値から、女性にとっての結婚をめぐる「選択」の変化について読み取れることを 3 点挙げ、各 50～70 字で述べなさい。

(15 点)

(2) 資料 3～資料 7 のうち、2 点を選び、それぞれについて、「選択」という問題をめぐる著者の主張を、各 200 字程度でまとめなさい。

なお、各解答の冒頭に、選んだ資料の番号を必ず記すこと。番号のないものは採点の対象としない。

(20 点)

問 3. 人間にとって「選択」とは何か、800～1,200 字で論じなさい。

なお、資料 3～資料 7 のうち、問 2 (2) で選ばなかったもの 2 点以上に触れること。必要に応じてそれ以外の資料 (資料 1、資料 2 を含む) に触れても差し支えない。資料に言及する際には、たとえば「資料 3 では……」のように、番号で表記すること。

(40 点)